

かきけはし

2021
No. 108

Contents

特集	令和3年度介護報酬改訂について	2-3
	研修会報告	4-5
	会員紹介	6-7
	ブロック通信、部会・委員会通信	8



東播磨 明石焼き



姫路 おでん



西播磨 牡蠣



但馬 松葉蟹



丹波 黒豆



波路 三年とらふぐ

特集

令和3年度介護報酬改訂について

令和3年2月18日施設長研修より

編集委員会委員 前川 義量 氏

厚生労働省 老人保健課 調整官 南亮介氏により、令和3年度介護報酬改定についてリモートで研修が行われた。70ページを超える資料を基に1時間半にわたり説明があったが、その概要と一部を抜粋し報告したい。

基本報酬の見直しの改定率については、介護職員の人材確保・処遇改善にも配慮しつつ、物価動向による物件費への影響など介護事業者の経営を巡る状況を踏まえ、全体でプラス0.70%（うち、新型コロナウイルス感染症に対応するための特例的な評価として、0.05%（令和3年9月末まで））となっている。これを踏まえて、「原則全てのサービスの基本報酬が引き上げられ、全てのサービスについて、令和3年4月から9月末までの間、基本報酬に0.10%上乗せする。」ということである。

今回は5つの柱という基本方針をもとに改定がなされている。

1. 感染症や災害への対応力強化

新型コロナウイルスの感染拡大が大きな引き金となった項目はBCP（事業継続計画）の義務化などが掲げられた。

2. 地域包括ケアシステムの推進

介護報酬の根底にある項目ではあるが、今回は特に居宅サービスにおける認知症・看取りなどを強く意識させる改定と

なっているといえる。

3. 自立支援・重症化防止の取り組みの推進

ICT（科学的な介護とデータの提出）データに基づく報酬の設定でありこの辺りが今回の報酬改定を実質プラスにできるかどうかのキーといえる。

4. 介護人材の確保・介護現場の革新

処遇改善に代表されたこれまでの看板項目であったが、今回は事業所の運営状況を重視した改定となったといえる。ここではICTを利用した作業負担軽減にともなう人員配置の緩和などがうたわれている。

5. 制度の安定性・持続可能性の確保

これは、様々な報酬基準の中で無駄や一定の役割を果たした部分、または実効性の担保ができない項目等を削減するという改定であり、報酬体系の簡素化や見直しがなされ、加算がなくなっている部分も少なからず見受けられる。

通常、報酬改定の前年には施設状況等調査がある。今回、全国における事業所の収益状況は2.4%であった。これは前年度比-0.7%となっており事業所の運営は非常に厳しい状況が続いていたことが伺える。さらに新型コロナウイルス感染症拡大がそれに追い打ちをかけていた。特にショート・通所・デイへの影響は大き

全事業所共通を含め、特に特養・通所におけるサービス改定事項の一部を挙げてみた。

	項目	改正点
共通項目	感染症対策の強化	委員会設置・訓練と研修（経過措置3年）
	新型コロナウイルス感染症対応による特例的な評価	2021年9月末までの間はすべてのサービスの基本報酬に0.1%の上乗せ
	業務継続に向けた取組の強化	研修の実施、訓練の義務（経過措置3年）
	CHASE・VISIT 情報の収集・活用と PDCA サイクルの推進	CHASE・VISITがLIFEへ統合
	人員配置基準における両立支援への配慮	仕事と育児や介護との両立への配慮
	利用者への説明・同意等に係る見直し	電子媒体の導入や捺印の排除が可能に
	記録の保存等に係る見直し	電子媒体を原則みとめられる
	運営規程等の掲示に係る見直し	閲覧可能な形で備え置くことが可能に
	高齢者虐待防止の推進	委員会の開催、指針整備、研修実施等の義務づけ（経過措置3年）
	サービス提供体制強化加算の最上位区分が追加	有資格者80%以上・勤続10年以上有資格者35%以上等
	介護職員等特定処遇改善加算の見直し	一般職/介護職との差は維持し、経験・技能における介護職間の格差の基準を緩和
	介護職員処遇改善加算(Ⅳ)及び(Ⅴ)の廃止	令和3年3月末時点での同加算算定者は経過措置1年
	認知症介護基礎研修の受講の義務付け	認知症介護基礎研修の受講が義務化（経過措置3年）
	認知症に係る取り組みの情報公表の推進	各種研修者の人数と、サービス情報等を公表
介護老人福祉施設等	看取り介護加算の追加	死亡日45日前～31日前で算定可能等
	ハラスメント対策の強化	事業所方針の明示と相談体制の義務化
	基本報酬の引き上げ	介護福祉施設サービス費の基本報酬のアップ
	生活機能向上連携加算	既存項目の2分化（医療連携と個別機能訓練化計画）
	人員配置基準の緩和	ICT活用による夜間配置基準の緩和
	個室ユニット型施設の設備・勤務体制の見直し	定員数の緩和等
	口腔衛生管理の強化	口腔衛生管理体制加算が廃止でⅡが新設
	栄養マネジメント加算	廃止
	栄養マネジメント加算	未実施の場合減算
	栄養マネジメント強化加算	（新設）低栄養リスク改善加算の廃止
	自立支援促進加算	医療連携を行いながら寝たきり・重度化防止を促す
褥瘡マネジメント加算	毎月算定へ	
排せつ支援加算	PDCAサイクルの推進による排せつ管理の強化	
看護職員の配置加算	19人以下では連携体制があれば緩和（ショート）	
介護保険施設におけるリスクマネジメントの強化	安全管理体制未実施減算（経過措置6か月）	

令和2年度介護の日イベント 人生の最終段階に向けての県民フォーラム

令和2年11月11日（水）開催
場所／神戸ハーバーランドホテルクラウンパレス神戸

今年度は、公益財団法人神戸新聞厚生事業団が創設された「第一回ひょうご福祉の現場若手リーダー賞」表彰授与式から始まりました。

第一部では、吉本芸人レギュラーのお二人を講師としてお招きし、吉本お笑いレク講演「レギュラーの知っておきたい介護の話」という講演会が開催されました。



第二部では、写真家でジャーナリストでもある國森康弘氏をお招きし「写真講演：家族を看取る〜地域での看取りの現場から〜」と題し数々のエピソードと写真スライドを使いながらご講演いただきました。

最初は看取りは命のバトンリレーである、今、ここに生きている私たちは数百万を超える命のバトンリレーの先頭を走っているランナーであり、私たちもまたその命をつなげていく役割を担っている。バトンをつなげるのは血縁だけではない、世界には戦争、貧困など全うできずに命を落とす人など様々な人がいることを知ってほしいと話されました。進行性難病（ALS）を患う50代

女性、苦悩の末に人工呼吸器を装着し、制度、家族に加え近所、学生グループ、看護師などボランティアは7代にもわたり支援を継続し、住み慣れた自宅で最期を迎える。また、6歳で脳腫瘍を患った女の子は、大好きなディズニールン



ドへ行きたいという夢を生きる力に変え、家族、関係者により夢を実現し命を全うする姿を記録に残されました。

東近江市永源寺地区での認知症を患った女性の最期や、都市部におけるホームホスピスでの看取り介護など、國森氏は多くの看取りの現場に寄り添いながらシャッターを切り、あなたも一瞬を切り取っておられる。最後に、私たちも現場での看取り介護で学ぶことは多い。私達は命のバトンをつなぐ瞬間に立ち会わせていただき、最期の瞬間を迎えるまで、ご本人とご家族様に寄り添う看取りケアについて、深く考えさせられる感慨深い講演会でした。

編集委員 森理恵

職員研修会

令和2年11月19日（木）開催
場所／兵庫県福祉センター・WEB研修

メディアカル・ケア・サービス株式会社 西日本事業統括部岐阜事業部部長 認知症戦略室副室長 杉本浩司氏より「感染症等の閉塞感からの開放ができるモチベーションアップの7つの魔法」と題して、WEB研修を行いました。



現在も、全国的にコロナ感染症が流行しており、外出できず自粛する事が多くなっています。こういう時だからこそ、「チームで同じ事を考える事がポイント」になってきます。

職員全員に共通する話題でネガティブ、ポジティブな事の話しあいをする、相手を知る事ができます。回数を増やしていくと、相手の人間的な側面が見え、感情が深まり、親しみを感じるようになります。これを「ザイアンスの法則」と言います。そして、「肩書き」をつくりません。自分が目指す事、理想の自分を名札に書く、人が見える所に掲示すると、人が見ている為、それに合わせた行動をとれるようになります。

編集委員 浅田亜里紗

また、「成長」とは、出来ない事ができるようになる事であり、目標に対して達成できなかった場合、不足部分を改善する必要があります。改善する為には、「誰が」「いつ」「どこで」「何を」「なぜ」「どのように」に加えて「期限」と「状態」を明確にする必要があると説明されました。

そして介護職員のミッションとして、その人の当たり前の生活を取り戻す事、元気にする事であり、その人の目的を達成するパートナーである事と説明されました。その為、利用者の8割以上に起きている「脱水」「低栄養」「貧血」「ポリファーマシー」の状態改善が必要となります。

最後に、杉本氏から「72時間以内に行動しないと、誰も動かない。何も動かない。可能性は無尽大である」と伝えられました。



デイ部会研修会

令和3年1月18日(月)開催

場所/兵庫県福祉センター・WEB研修

株式会社QOLサービス代表取締役 妹尾弘幸氏を招いて「コロナ対策とこれからのデイ運営」についての研修会が、Zoomにより開催されました。



まず、新型コロナウイルスに感染した場合、重症化しやすいのは、高齢者や基礎疾患のある方で、妊婦や喫煙歴も注意が必要であること。また、感染者が、他の人に感染させてしまう可能性のある期間は、発症の2日前から発症後の7〜10日程度、感染させる確率は2割以下との説明があり、実際には、多くの人は他の人に感染させていないと考えられます。

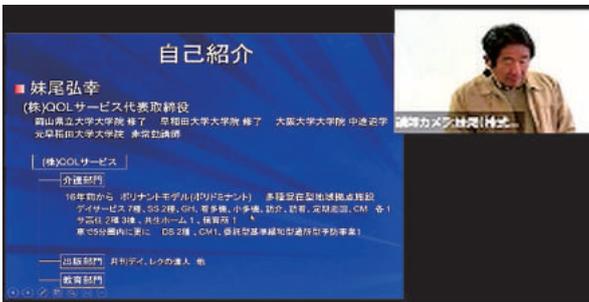
感染の予防には、換気・加湿が必要であり、湿度が上がるにつれてウイルスは下に落ちるので、机や床の清掃・消毒を行うこと。また、靴底、車椅子のタイヤ、杖先のゴム等にも注意が必要とのことでした。

また、厚生労働省「社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について」を参考になるので、それを参考にしながら、施設ごとに感染予防マニュアルを作成して備えておくことも必要です。

兵庫県の場合は、感染者が出た場合の、「兵庫県協力スキーム」という制度があるので、いちど目を通しておいてください。

デイ利用者には利用自粛の説明、及び職員に対しては感染予防のストレスや不安・恐怖からくる離職防止策が必要となってきます。また、運転資金の確保など、経営の継続といった問題にも対応していかなければなりません。

今回83名の出席をいただき、コロナ禍での感染防止にも注意をしながら、利用者目線のデイ運営を再認識できる研修になりました。



施設長研修会

令和3年2月18日(木)開催

場所/神戸メリケンパークオリエンタルホテル

今年度最後の施設長研修会では、国産牛ステーキ専門店「佰食屋」で有名な、(株)minits代表取締役中村朱美氏を招いて「みんなが幸せな新しい仕組み〜働き方改革の、その先へ〜」と題して、開催されました。



たまたま、夫の趣味が料理、得意なのがステーキ丼、これが非常においしく、これまでの飲食店の常識を覆す新しいビジネスモデルを作ろうと思いつき、一日100食限定のランチ専門店「佰食屋」を、2012年に創業しました。おかげさまで、4店舗を構えるまでになりました。

佰食屋の特徴は、「ランチ営業」のみであること。夜も営業したらいいのでは、とよく言われますが、100食限定にするメリットが3つあります。

- ①フードロスほぼゼロ
 - ②100食限定なので、仕入れに無駄がありません。
 - ③集客効果があがる
- お金をかけずに集客するために100食、しかもランチだけということ、希少価値に結び付けました。休み明け、大雨、警報等、普通なら集客をあきらめる日に限って、「今日ならすいているかも」というお客様が来てくれます。また、料

理の水準を上げてSNS等の口コミで拡散するといった、「コンセプト集客」を展開しています。

- ③早く帰れる

従業員の就労時間の最長は、9時から17時45分。日中に仕事ができるため、10代〜70代までの、子育て女性、シングルマザー、高齢者、障がい者、介護中の方、妊娠中の方、外国人留学生などに門戸を開いています。

従業員は、出勤・退勤時間、有給休暇・公休を自分で設定できます。従業員に自己管理させたほうが、出勤の最適化がうまくいきます。

新型コロナウイルスでは、緊急事態宣言が出る前に2店舗の閉鎖を決定。雇用調整助成金や持続化給付金を活用して「生き残る」ことを最優先に考えました。しかし、「ピンチをチャンスに変えよ」という言葉通り、テイクアウト営業への切り替えや、あけの集客の手立てを実施しました。早く手を打った結果、6月からはほぼ通常通りとなり、その他、新商品開発など「先手必勝」で、コロナ禍を乗り越えることができました。

自社の拡大よりも日本の働き方を良くする。SDGs/世界を変えるための17目標のうち、8番目の「働きがいも経済成長も」、12番目の「つくる責任、つかう責任」どちらも全うし、未来の子どもたちに残していきたいと思えます。目の覚めるような最先端の経営の考え方と実践に触れることができ、研修参加者一同、深く感銘を受けました。

会員紹介

特別養護老人ホームほがらか苑は、平成11年3月に開所しました。個室と多床室を設けた従来型で、2階〜4階が特養、5階がケアハウスとなっています。法人内には、地域包括支援センターも併設されており、地域に根差した福祉サービスを提供しています。駅から近く、近隣には尼崎城もあり、施設が建っている土地も昔は尼崎城の敷地だったそうです。今年度は、コロナウイルスの影響等で色々な制限があり、入居者様・ご家族様には大変ご迷惑をお掛けしております。その状況の中でも、「あなたが最後にいい人生だったと思えるよう、全力を尽くし支援します」の法人理念の下、「ほがらか苑」での生活がより良いものとなるよう、職員一同努力してまいります。また、令和3年度1



月より特養を増床する事となりました。今後も介護サービスの重要性が増す事が予想されますが、入居者様の生活が安心・安全に送れるよう職員の技術向上を行い、地域の方々からも信頼されるような施設を目指していきます。

特別養護老人ホーム ほがらか苑

介護老人福祉施設 / 阪神ブロック



社会福祉法人 ほがらか会 特別養護老人ホーム ほがらか苑

施設長名 宮崎 均 定員数 入所97名

住所 〒660-0824 尼崎市東本町4-103-11
TEL 06-4868-2533 FAX 06-4868-2536
hogarakaen@mild.ocn.ne.jp

併設事業 短期入所生活介護、ケアハウス、居宅介護支援事業、訪問介護、地域包括支援センター

明石特別養護老人ホームラガール

介護老人福祉施設 / 東播磨ブロック



社会福祉法人 弘道福祉会 明石特別養護老人ホームラガール

施設長名 齋藤 直樹 定員数 入所50名

住所 〒673-0033 明石市林崎町3丁目542-37
TEL 078-923-9230 FAX 078-923-9202
akashi.lagare@m7.dion.ne.jp

併設事業 短期入所生活介護、通所介護、訪問介護、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護、配食サービス

明石特別養護老人ホームラガールは、平成14年に開設しました。施設の前には林崎海岸が広がり、入浴時には湯船につかりながら淡路島を眺められ、夕食は明石大橋のライトアップを眺めながらのお食事、共に明石ラガールでは利用者様から大変好評をいただいております。「安心・信頼・貢献」の法人理念の元、地域の皆様に支えられ、19年目のスタートを切りましたが、令和2年はコロナ禍の影響で行事・外出等、盛りだくさんの計画が中止・縮小を余儀なくされ利用者様はもろろん、職員も悔しい思いをたくさん経験して来ました。コロナの1日でも早い終息を願いつつ、Withコロナで上手くコロナと付き合って行かなければならないのだろうと考えっております。



また、令和3年の夏頃には敷地内にグループホームを開設する予定になっています。今後とも地域の皆さんに愛される施設を目指し頑張っていきたいと思っております。

荒牧デイサービスセンターは、平成7年に開設し、令和3年5月には27年目を迎えます。伊丹市の最北に位置しており、すぐ近くには「荒牧バラ公園」があります。春と秋には公園一面約250種1万本の見事な薔薇が咲き誇り、利用者様の送迎中にも花壇の薔薇を見ることが出来ます。

デイルームは、広々としたスペースがありビデオ体操やレクリエーションを行える他、食堂としても利用しております。浴室には機械浴と一般浴があり、更衣室共にゆったりと入浴して頂ける広さがあります。又、機能訓練を行う別ルームではA・D・Lの維持向上に努めております。

地域との交流にも取り組み地域交流事業として「荒牧デイ祭り」



を秋に行っています。法人の経営理念でもある「豊かな明日へあなたとともに歩みます」を目標に、地域に愛されるデイサービスを実践できる様、職員一同邁進して参ります。

伊丹荒牧デイサービスセンター

通所介護 / 阪神ブロック



社会福祉法人 伊丹市社会福祉事業団 伊丹荒牧デイサービスセンター

施設長名 西村 千恵 定員数 通所40名

住所 〒664-0001 伊丹市荒牧5丁目16-27
TEL 072-777-7006 FAX 072-777-7006
aramaki@jigyoudan-itami-hyogo.jp

併設事業 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

山彦デイサービス

通所介護 / 姫路ブロック



社会福祉法人 本覚寺苑 山彦デイサービス

施設長名 小林 拓樹 定員数 通所10名

住所 〒671-0252 姫路市花田町加納原田171-5
TEL 079-253-8250 FAX 079-253-8251
yamabiko@honkakuji-gr.or.jp

併設事業 特別養護老人ホーム、通所介護、短期入所生活介護、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター

通所介護山彦デイサービスは、平成21年10月に定員10名の民家改修型小規模デイサービスとして開所しました。家庭的な雰囲気の中でサービスが行える様、外観はそのままにしております。しかし、当然お身体が不自由な方が利用出来る様、中庭から車椅子で利用出来る様にスロープを設置したり、浴室の脱衣場を広げたり男女が利用しやすいように2つのトイレを作る等の改修を行いました。

サービス内容としては、毎月、手のひらサイズの、季節に応じた作品作りを行う等、利用者様の趣味や趣向を採り入れた作品作りをしています。庭には、家庭菜園があり、昔畑仕事を楽しみにされていた利用者様が野菜作りを行い、収穫できた時には利用者様に食事として提



供することも楽しみの一つとなっております。

現在は、平成26年に開所された山彦第2デイサービスのサテライトとして、これまで行って来たサービスを継続しながらデイサービスを運営しています。

ブロック通信

◆阪神ブロック

○3月12日 第4回施設長会及び研修会(オンライン開催)
「ACP～エンドオブライフについて」～その人らしい最期を過ごすために～
講師：甲南女子大学 リハビリテーション学部助教
聲高 英代 (こえたかはなよ) 氏

◆東播磨ブロック

○1月29日 「認知症を体験する」
ZOOMによるオンライン体験会の開催(360度動画WEB会議システム)
講師：黒田 麻衣子 氏
○2月17日 「日課の中でできる生活リハビリ」(オンライン開催)
講師：松本 健史 氏
○3月10日 「職員が辞めない職場づくり」(オンライン開催)
講師：高口 光子 氏

◆西播磨ブロック

○3月12日 西播磨ブロック老人福祉施設連盟施設長研修会(オンライン開催)
「新型コロナウイルス感染防止について(仮)」
講師：医療法人伯鳳会 赤穂中央病院 感染管理認定看護師
勝平 真司 氏

◆但馬ブロック

○2月2日 Web研修 身体拘束廃止・虐待防止 指導能力向上研修会
講師：株式会社ニッソーネット 福祉の教室ほっと倶楽部 青田 氏

◆丹波ブロック

○2月17日 ブロック役員会(オンライン開催)

部会・委員会通信

◎ 介護保険推進委員会

介護報酬改定の影響調査を実施・分析したものをホームページに掲載しております。又本調査に基づき厚生労働省、国会議員との意見交換を行いました。(詳細は、かけはし107号号外等に掲載)

◎ 介護人材確保推進委員会

当協会では、介護現場で働く職員が圏域内の中学校等を訪問し、介護の仕事の魅力を伝える「出前授業」を随時実施しています。将来の介護の担い手となる小学生・中学生・高校生・大学生やその保護者・教員に向けて介護の仕事の魅力を発信しています。昨年度は中学生向けの啓発ツールを作成し、今年度は、一般用(高校生を含む)の来年度から活用できるよう啓発ツールリーフレット・動画を作成しています。本会HPの「ひょうご介護求人ネット」を是非ご活用ください。令和3年度も就職出前プレゼンテーションを実施します。

◎ 調査研究委員会

令和2年度末、『生産性の向上』報告書を発行する予定で、現在、最終のまとめを行っています。

◎ 編集委員会

かけはしで取り上げてほしい事がらや、会員事業所の取組み等の情報をお寄せください。

◎ ケアプラン委員会

令和3年度も「包括的自立支援プログラム」の浸透を図るための研修会を企画し、実施します。また、今後の運営方針を検討するにあたり、会員施設の皆様に「ケアプラン作成」に関する実態調査を実施する予定です。

◎ 研修委員会

令和3年2月18日(木)「働き方改革」や「令和3年度介護報酬改定」について、オンラインによる施設長研修会を開催しました。令和3年度も現場の声に応える研修会を企画してまいりますので、多くのご参加をお待ちしております。

◎ 養護部会

令和3年1月19日に職員研修会、3月11日に施設長研修会を開催しました。令和3年度におむけて多様化するニーズに対応した研修会を企画しておりますので、積極的なご参加をお待ちしております。

◎ 軽費・ケアハウス部会

令和3年2月12日(金)施設長研修会を開催しました。来年度に向けて、軽費・ケアハウスの「修繕費」について調査を実施し、現状と課題を把握し要望等に反映させていただきますので、アンケートへのご協力をお願いします。

◎ ティ部会

令和3年度もニーズに添ったテーマにおいて、会員事業所が情報を共有する機会として管理者・職員研修会を企画、実施します。

◎ 地域サポート施設推進事業

平成30年10月より、「地域サポート施設」が知事認定事業としてスタートし、現在本协会会员から67施設が認定を受けております。また、兵庫県移住支援事業の認定事業所となりました。

◆ 青年部会 会員募集中 ◆

【入会条件】

正会員 50歳以下の施設長もしくは施設長の推薦する50歳以下の施設職員
年会費：5,000円

賛助会員 会の趣旨に賛同し、ご支援いただける方
年会費：10,000円

【目的】

老人福祉の増進と老人福祉事業推進のために、老人福祉事業後継者としての研鑽と会員相互の親睦をはかることを目的とする。

入会お待ちしております！

入会についてのお問い合わせ、並びに申込書送付は下記、青年部会事務局まで。

【青年部会事務局】特別養護老人ホームたちばな苑 山岡 TEL (0799)27-0146

県老協加入施設数

R3.3.10現在

	特養	養護	軽費	ケアハウス	デイサービス	計	
会 員	阪 神	65	6	0	21	71	163
	東播磨	64	6	1	20	74	165
	姫 路	42	3	0	8	38	91
	西播磨	28	6	0	2	36	72
	但 馬	25	3	0	6	39	73
	丹 波	11	4	0	3	14	32
	淡 路	21	4	0	2	16	43
計	256	32	1	62	288	639	

※ 賛助会員 1事業所(内訳:団体)

編集後記

会員事業所の皆さまにおかれましては、本会事業推進について、ご理解、ご協力を賜りありがとうございました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大により、事務局では研修会等においてリモート研修を取り入れるなど新たな取り組みで事業を継続しておりますが、編集委員会では、「かけはし」を通して次年度も会員事業所の方々にタイムリーな話題をお届けできるように頑張りますので、よろしくお願ひいたします。